

**産学連携による実践型人材育成事業 ー長期インターンシップ・プログラム開発ー
最終評価結果**

大 学 名	立教大学
プロジェクト名称	派遣型ビジネスクリエーター養成プログラム
事業責任者	ビジネスデザイン研究科・研究科委員長 亀川 雅人

事業概要

本事業は、企業経営全体を俯瞰し、新たなビジョンに基づいて業務や事業を構想できる「コーポレートアントレプレナーシップ」を持つ自立したゼネラリスト人材の育成の実現を図る取組である。これまで一貫して取り組んできた「ビジネスクリエーターの育成」を学内のみならず学外においても実践するため、地元の金融機関と連携して、地域の製造業等の事業会社と連携し、新たな「インターンシップ・プログラム」として展開した。



詳細については、<http://www.rikkyo.ac.jp/research/laboratory/IBC/index.htm> を参照。

最終評価結果

(総合評価) A : 所期の計画と同等の取組が行われた

コメント

《優れた点》

- ・ 大学と地元企業とが有機的に連携するために地元の信用金庫が間に入るという取組は、他大学には見られない非常にユニークな教育手法であり高く評価できる。
- ・ 育成すべき人材像が明確であり、実施のプロセスにおいても、他大学の事例には見られない優れた特徴を有している。
- ・ 学生への教育効果だけではなく、協力する金融機関や中小企業にも、若手人材の育成や新しい経営手法の提案などのメリットも現れている点が工夫されている。
- ・ 本事業の参加者が起業した事例が複数出てきており、目的とする人材が育成できていると評価できる。

《今後に期待する点》

- ・ 参加学生が 30 代の社会人に限られているが、起業家育成の視点からはもっと若い学生を育成対象にするよう検討してみてはどうか。
- ・ 参加学生の経験や知見を翌年度の参加者が参考にできるよう、工夫して欲しい。
- ・ 他の金融機関とも連携を進め、このシステムがさらに波及するよう努力することを期待したい。